

科目名称	母性看護学方法論Ⅱ (周産期にある人と家族への看護)	学年学期	単位数	時間数
		2 学年後期	1	30
担当教員	矢野 良子	授業に関わる 実務経験	☒ 有 (助産師) ☐ 無	

【1】授業概要

分娩期・産褥期にある母性と新生児の特徴について理解し、その看護ができる基礎的知識・技術を習得する。

【2】学習目標

1. 分娩期・産褥期にある母性の身体的・心理的・社会的特徴を説明できる。
2. 分娩期が正常に経過し、産婦が安楽で主体的なお産ができるための分娩期の看護について説明できる。
3. 分娩期の看護における基礎的看護技術について学ぶ。
4. 産褥期が正常に経過し、褥婦が母親役割を獲得するための産褥期の看護について説明できる。
5. ハイリスク因子を持つ母児に対する看護実践に必要な基礎的知識について説明できる。
6. 産褥期に必要な基礎的看護技術について学ぶ。
7. 新生児が子宮外生活に適応するための看護について説明できる。
8. 新生児看護に必要な基礎的看護技術を、安全と愛護を意識して行うことができる。
9. 産褥期の看護過程を展開し、対象に必要な看護を計画できる。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	正常な分娩経過	講義
2	産婦の心理的特性・分娩時の異常と看護	講義
3	分娩時の異常と看護	講義
4	産婦と家族への看護	講義
5	正常な産褥期の経過 産褥の健康問題に対する看護 褥婦の心理・社会的特性	講義
6	褥婦の看護	講義
7	褥婦の看護	講義
8	新生児の生理と看護	講義
9	新生児の看護	講義・デモスト
10	愛媛県立中央病院での母乳育児支援について(未定)	講義
11	母性看護技術	演習
12	愛媛県立中央病院での周産期管理について (未定)	講義
13	ハイリスク児の看護	講義
14	褥婦・新生児の看護過程	講義
15	筆記試験・まとめ	

【5】評価方法

科目評価は、筆記試験(90%)、演習課題(10%)、受講態度等で総合的に評価する。

【6】教科書

森恵美:系統看護学講座 専門分野 母性看護学各論(第14版) 医学書院 2022

【7】 参考書

ナースিং・グラフィカ 31.母性看護技術, MC メディカ出版

村本淳子編:周産期ナースিং, ヌーヴェルヒロカワ

木節引美代子著:カラー写真で学ぶ 周産期の看護技術・新生児の観察と看護技術・妊産褥婦のケア, 医歯薬出版
病気が見える 産科, メディックメディア

【8】 受講生へのメッセージ